



エコアクション21

認証・登録番号 0000774

環 境 方 針

当社は、自然環境を守る為に、下記の通り行動指針を定め事業活動を行う。

農業機械・部品・資材などの事業活動において、全従業員が環境に関わる重要性を認識し、環境に適合した製品やサービスを行う過程で、環境に対する継続的改善を実行する。

【行動指針】

- 1) 環境に関連する法規制等を遵守します。
- 2) 事業活動の二酸化炭素排出量削減に努力します。
- 3) 省資源活動の一つとしてリサイクル活動を積極的に実施し、廃棄物の削減を目指します。
- 4) グリーン購入に取り組みます。
- 5) 水使用量の抑制に取り組みます。

制定 2006年4月1日

改定 2016年4月1日

株式会社 ISEKI アグリ

取締役社長

音積 央

2016年度 環境活動レポート

2016年度
(2016年1月～12月)

 株式会社 **ISEKI** アクリ

作成日： 2017年4月25日

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 ISEKIAグリ
取締役社長 安積 央

- (2) 所在地

所 名	所 在 地	TEL	FAX	環境マネジメント
本社事務所	東京都荒川区西日暮里5-3-14	03-3803-7951	03-3806-2386	井関農機本社事務所内ISO14001
関東事業所	埼玉県鴻巣市鴻巣1202	048-543-3620	048-543-5462	EA21
関西事業所	兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬842	078-977-1170	078-977-1172	EA21
北海道・東北営業所	宮城県岩沼市下野郷字新南長沼1-2	0223-25-5682	0223-25-5683	キセキ東北本社事務所内EA21
関西営業所	滋賀県近江八幡市上田町1320	0748-38-0131	0748-38-0318	井関農機関西センター内 なし
中四国営業所	広島県東広島市高屋町檜山921-5	082-434-7161	082-434-7162	2018年度拡大予定
九州営業所	熊本県上益城郡益城町大字安永140	096-286-8888	096-286-07000	井関熊本製造所内ISO14001

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 業務部長(本社) 越川 進 TEL:03-3803-7951
責任者(副) 関東事業所長 真田 孝一 TEL:048-543-3620
責任者(副) 関西事業所長 森近 泉 TEL:078-977-1170
事務局 (本社) 山科 明 TEL:03-3803-7951

- (4) 事業内容
農業機械の販売 主要製品:小型耕耘機、刈払機、草刈機、ポンプ

- (5) 事業の規模
製品・部品出荷額 49億円

	本社	東北	関東	関西(事)	関西(営)	中四国	九州
従業員	11名	7名	15名	12名	7名	6名	5名
延べ床面積	62m ²	57m ²	832m ²	1270m ²	50m ²	55m ²	88m ²

- (6) 事業年度 1月～12月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 ISEKIAグリ 関東事業所及び関西事業所
関連事業所: 株式会社 ISEKIAグリ 関東事業所及び関西事業所
拡大予定 中四国営業所(2018年度より拡大予定)
対象外: 関西営業所(井関農機グループ会社と同居しているので、拡大時期は未定です)
活動: 農業機械(管理機・草刈機)部品及び農業資材の販売

□環境目標及びその実績(関東事業所)

項 目	年 度	2016年 (1～12月)		2013年	2017年 (1～12月)	2018年 (1～12月)
		(目標)	(実績)	(基準年度)	(目標)	(目標)
		2013年度比			2013年度比	2013年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度	16,393 97%	14,111 86%	16,900	16,224 96%	16,055 95%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度	67,760 87%	77,465 114%	77,885	66,981 86%	66,203 85%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	84,153	91,576	94,785	83,205	82,258
一般廃棄物の削減	kg 基準年度	658 62%	300 46%	1,024	651 51%	633 50%
節水	m ³ 基準年度	177 96%	175 99%	184	175 95%	173 94%
グリーン購入	コピー用紙 備品入替	70%	26/45 58%	63%	70%	72%
製品への環境配慮 2013年を基準とした販売	排ガス規制 E/G付刈払機 の販売	54百万円 110%	40百万円 81%	49百万円	59百万円 120%	64百万円 130%

※二酸化炭素排出係数は、2016年度より2015年度版の0.505を使用し、基準値の2013年は再計算。

□環境目標及びその実績（関西事業所）

項目	年度	2016年 (1~12月)		2013年	2017年	2018年
		(目標) 2013年度比	(実績)	(基準年度)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度	23,246 94%	22,380 90%	24,730	22,999 93%	22,752 92%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度	8,022 64%	7,013 55%	12,733	6,876 54%	6,748 53%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	31,268	29,393	37,463	29,875	29,500
一般廃棄物の削減	kg 2013年度	600 94%	605 95%	638	600 94%	593 93%
グリーン購入	アイテム割合 グリーン対象率	事務用品のみ 75%	53/667アイテム中 80%		事務用品のみ 75%	事務用品のみ 75%

※二酸化炭素排出係数は、2016年度より関西電力株の実排出係数(0.531)とし、基準値の2013年度は再計算。

※2015年度よりグリーン購入において、全備品のうち事務用品のみをグリーン購入対象商品とします。

※節水に関しては取組んではいるが、家管理の為数値が把握できず、データがありません。

□環境活動の取り組み計画と評価（関東事業所）

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・省エネ目標説明及び節電運動展開	○	2015年にエアコンを更新した事により空調環境が改善し暖房の補完で使用している電気ストーブの割合が減り総体的に電力消費削減ができた。今後も不要照明のこまめな消灯など電力消費削減に全所員で努める。
・不要照明の消灯	△	
・冷房28℃ 暖房20℃	◎	
・クールビズ運動	◎	
・エアコンを省エネの為に分解クリーニングの実施	◎	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・自動車燃費向上目標の説明	○	取り組みとしては出来ているが削減実績は目標に対し114%と改善できていない。更なる効率的な出張計画により走行距離及び燃料消費の削減に取り組む。
・急加速・急停車の防止	○	
・アイドリングストップ	○	
・燃費のよい車の購入(更新時)	更新なし	
一般廃棄物(リサイクル)の削減		
・一般廃棄物削減目標説明	◎	概ね一般廃棄物削減は出来ているが木くずの発生が抑えられていない。木くずの発生を抑えるため実演機・借用機は出来る限り送付先を現地にする様に呼び掛け、木くずの発生を抑制し廃棄物削減を目指す。
・裏紙使用	◎	
・古紙のリサイクル、梱包クッション材化(シュレッター)	◎	
・木くず発生減の呼び掛け	△	
・両面印刷の推進	○	
節水		
・水道水削減目標説明	○	削減目標は達成したが、今後も実演場所での泥落としや洗浄に心がける様に呼びかけ節水に努める。
・節水呼びかけ	△	
グリーン購入		
・グリーン購入対象品目調査	○	購入に際しては、事前に必ず対象品目調査し極力対象商品を購入。
・グリーン購入比率調査	○	
環境配慮製品の開発・販売促進		
・環境配慮製品の開発提案	△	刈払機のモデルチェンジにより全て排ガス規制エンジン搭載とし販売促進を図る。
・排気ガス2次規制搭載刈払機の販売促進	△	

□環境活動の取り組み計画と評価(関西事業所)

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・省エネ目標説明及び毎月の実績報告、運動展開	◎	毎月の実績報告、運動展開はできました。各チェック表の記入については今年も若干の記入漏れがありましたが、各自が電力削減を意識して取り組む事ができた為、目標達成する事ができました。新たに目標にしましたエアコン室外機の簡易点検もできていました。来期も引き続き、各自が電力削減を意識できるよう展開していきます。
・不要照明の消灯(チェック表の記入)	○	
・冷房28℃ 暖房20℃(チェック表の記入)	○	
・使用電力の集中防止	◎	
・エアコン室外機の簡易点検	◎	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・自動車燃費向上目標の説明及び毎月の実績報告	◎	毎月の実績報告はできました。運転者が出張など運転するうえで、急加速・急停車並びにアイドリングストップを意識した事で、目標を達成する事ができました。来期より社用車が1台になります。引き続き燃料削減を意識できるよう展開していきます。
・急加速・急停車の防止	◎	
・アイドリングストップ	◎	
・燃費のよい車の購入(更新時)	◎	
一般廃棄物(リサイクル)の削減		
・一般廃棄物削減目標説明及び毎月の実績報告	○	毎月の実績報告はできましたが、目標未達成でした。裏紙使用や両面印刷、記帳は皆が意識して取り組みました。また毎月の報告時に各目標において皆より積極的に立案される事もありました。シュレッダー作業については昨年同様、全員での取組とはなりませんでした。その反省を踏まえ、来期も意識づけ、展開していきます。
・裏紙使用	◎	
・古紙のリサイクル、梱包クッション材化(シュレッダー)	△	
・ゴミの集約、搬出時の記帳	◎	
・両面印刷の推進	◎	
・紙、金属缶、瓶、プラスチック等の分別廃棄	◎	
グリーン購入の推進		
・購入備品の記帳	◎	購入備品の記帳は毎月確認できました。購入担当者も常にグリーン対象品を意識し、備品購入に努め、目標達成する事ができました。来期も引き続き展開していきます。
・備品のエコ商品への切り替え	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
フロン排出抑制法	業務用空調機
自動車リサイクル法	営業用乗用車

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直しの結果

・電力消費は関東、関西共に、目標達成できた。特に関東はエアコンの更新もあり、大幅な改善となった。社用車燃料は増加しており、エコ運転、定時退社等を推進し、削減に努力する。

・関東事業所、関西事業所はもとより全社挙げて環境経営への意識を高め、成果を上げていきたい。

□環境活動の紹介

・弊社は環境への配慮した製品の販売、特に電動(リチウムイオン電池)で動く小型耕耘機、そして第二次規制をクリアしたエコ&クリーンエンジン、排出ガス20%削減、燃費30%以上アップ搭載刈払機シリーズを本格販売をしております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.iseki-agri.co.jp>